

## ここに注目！



## 青年部の結成により商店街活動が活発に

### ポイント

若手有志による青年部との連携により組合活動が活発化。15年振りのイベント復活など次々と話題性のある事業を実施し、賑わいを創出。駅前に開業する中四国地方最大級のショッピングモール事業者と協定を締結し、協働による活動を目指す。

### 【現状分析及び課題抽出】

### Plan

#### 中心市街地の地図が大きく変わる中での対応策

店主の高齢化、経営不振などで閉店した後継テナントがチェーン店になることが多く、商店街活動の担い手減少や次世代のリーダーの不在が懸念されていた。また、新規出店の多くが飲食・サービス業という店舗構成の変化に対応した活動が求められるようになった。

大型商業ビル2棟が空きビルとなっていたが、この数年間に家電量販店や地元スーパー、ビジネスホテル等が相次いで開業し、活気が戻ってきた。一方、平成26年12月、中四国地方最大級の商業施設開業のため、商店街としての対応策が求められている。

### 【対応策の優位性】

### Do

#### スタッフも来街者も楽しめるイベント

平成23年に若手店主の有志が、周辺商店街の店主等と青年部を結成し、組合員相互の交流、商店街の賑わい創出に取り組んでいる。高齢化等により低調であった組合活動が「夏の土曜夜市」や「街コン」「火曜ジャズナイト」などのイベント等で活性化している。また、商店街の若手を中心に、会社経営者や大学生らとともに新組織「桃太郎プロジェクト実行委員会」を結成し、平成26年から毎月第2日曜日に中心市街地の活性化、地産地消、被災者支援をテーマとした「桃太郎市」を開催するなど、駅周辺客を誘引できる話題性のある事業を実施し、商店街の魅力アップに努めている。

### 基本データ

岡山駅前商店街振興組合

所在地:岡山県岡山市北区駅前町

人口:約29万人(岡山市北区)

会員数:78名

店舗数:75店舗(買回品小売店21、最寄品小売店11、飲食店31、サービス店9、その他3)

商店街の類型:近隣型商店街

主な客層:主婦、会社員、高齢者

### 商店街概要

岡山駅前商店街は、戦前より岡山市の玄関口に位置する商店街として活況を呈してきた。東西280mにのびるアーケード街で、同じく駅前に立地する大規模スーパー・量販店と共存しながら地域住民から駅を利用する通勤・通学客までを顧客層として繁栄を持続してきたところである。



大型商業施設と地域振興のための連携協定を締結

### 【効果の評価及び改善策】

### Check-Action

#### 大型店の強大な集客力をいかに取り込むか

青年部の活動が商店街活動の活性化に大きく寄与しており、新規イベントの実施のみならず、アーケードの改修や放置自転車対策などにおいても中心的な役割を果たすようになってきている。

この数年は、毎年2~4店の新規出店があり、空き

店舗数は5年前と比較すると5店舗減少。また、商店街内の通行量も上昇傾向にあり、休日、平日ともに平成20年と比較して約5千人増加し、駅周辺の集客を取り込めている。

また、平成26年12月岡山駅前に開業した大型ショッピングモールと地域振興のための連携協定をいち早く結び、街のにぎわい創出を図っている。同ショッピングモールを展開する事業主体が商店街と同様の協定を結ぶのは全国初である。具体的には、商店街に電子マネーを導入し、商店街のみで利用できる地域ポイントを発行したり、ショッピングモール内のデジタルサイネージで商店街のPRなども行う協定となっている。

役員として部長と事業推進本部長を置いている。メンバーには商店街の店主のほか、近隣の料理店や商業テナントの店主、地元企業社員なども加わっており、幅広いメンバー構成をとっている。また、青年部メンバーが商店街組合の事務局業務・行政窓口との折衝なども担当し、商店街組合の中心的存在となっている。



「桃太郎プロジェクト実行委員会」による賑わい創出

### 【実施体制】

#### 商店街の枠を超えたネットワーク作り



#### キーパーソン

岡山駅前商店街振興組合  
青年部部長 土居 和正

#### 近隣地域や他の商店街との連携

岡山駅前商店街は市内にある代表的な3商店街の中では一番歴史が浅く、戦後の闇市から発展しました。当時は繊維を扱うお店が多かったようです。私は、祖母からの家業を引き継ぎ20数年商店街を見てきました。一番の転機は平成17年に核テナントの撤退に伴い、シャッター化が進み来街者も激減したことでした。その後、平成19年に大手家電量販店のオープンを機に、若手の飲食店オーナーの出店が相次ぎ、飲食色の強い街になりました。若手が増えたこともあり、その中の有志の一人が人手不足で立ち消えていた青年部の復活を持ちかけ、新たな出店者と旧来の店主とで青年部を復活することができました。そうしてできた駅前青年部の大きな特徴は垣根を作らず入部希望者はどんどん歓迎し、また今までではあり得なかった他の商店街や近隣施設の青年部との連携を図りました。

そうすることにより、お互いのイベント告知をシェアしたり、開催時期を調整することができるようになり、何より地域の仲間が一気に増えたことが一番のメリットだと思います。今では大学生や社会人の有志とも連携ができ、イベントを手伝ってもらいながら彼らの学祭の告知をするなどのお互いウィンウィンの関係を築いています。そうして色々な世代の方に知っていただき、親しみのある商店街を目指しています。

#### 大型商業施設との共存

昨年、12月に駅前に大型ショッピングモールがオープンしました。大型ショッピングモールが出店した他の地域では近隣の商店街は壊滅的な状況にあると聞いていたため、出店計画が持ち上がった時、岡山の街には衝撃が走りました。しかし、先方から、郊外型ではないモールを初めて展開するにあたってぜひ地域と連携していきたいという話をいただき、最も近くに立地する駅前商店街は協定を結ぶことを決定、調印しました。今後は今まで続けている地産地消に特化したイベントを継続し、大型ショッピングモールの集客能力をどこまで取り込めるかがカギとなると思われます。簡単ではありませんが益々地元で頑張っている方々との連携を強くして岡山全体が元気になるよう努力していきたいと思っています。